

# 外来診療日一覧

今号の一覧表は、4月1日付変更の情報も掲載されています

## ■外来診療棟

階	診療科名	初診日	再診日
4階/西	心療内科 TEL 092-642-5335	月・木	火・水・金
	呼吸器科 TEL 092-642-5388	月・水・金 ※要紹介状	月・火・水・金
	外科 ●消化管外科(1) ●胆道・脾臓・膵臓移植・腎臓移植外科 ●呼吸器外科(1) ●乳腺外科(1) ●内分泌外科 TEL 092-642-5453	火・木	火・木
	外科 ●消化管外科(2) ●肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科 ●呼吸器外科(2) ●乳腺外科(2) ●血管外科 TEL 092-642-5479	月・水・金	月・水・金
4階/東	先端医工学診療部 TEL 092-642-5993	月・水・金	月・水・金
	産科 TEL 092-642-5900 婦人科 TEL 092-642-5409	月・金 ※要紹介状	月・金
4階/東第2	ペインクリニック(麻酔科蘇生科) TEL 092-642-5719	月・火・水・金	月・金
	再生歯科・インプラントセンター TEL 092-642-6361	月・金	月・金
3階/西	内科 ●血液・腫瘍内科 ●免疫・膠原病・感染症内科 ●消化管内科 ●腎・高血圧・脳血管内科 ●内分泌代謝・糖尿病内科 ●肝臓・膵臓・胆道内科 TEL 092-642-5302	月・金 ※専門の疾患によって曜日が変わります。お問い合わせの上お越しください。 ※要紹介状	月・金
	先端分子・細胞治療科 TEL 092-642-5302、5996	月・金	月・金
3階/東	ハートセンター外来 TEL 092-642-5371 TEL 092-642-5565 ①循環器内科 ②血液・腫瘍内科(心臓血管グループ) ③心臓血管外科	①月・木 ②火・水・金 ③月・水・木 ※①と③は要紹介状	①月・水 ②火・金 ③火・木
	皮膚科 TEL 092-642-5597	月・水・金 ※要紹介状	火・木
	耳鼻咽喉・頭頸部外科 TEL 092-642-5681	火・木	月・水・金

※赤色の曜日は予約が必要です。

※電話予約受付時間14:00-16:00 予約に関するお問い合わせは、各診療科外来へ直接お電話ください。

※再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となり、紹介状をお持ちでない方は治療費とは別に保険外併用療養費として3,150円が必要となることがあります。あらかじめ各診療科外来にお確かめ願います。

## ■病院にお越しの際は保険証をお忘れなく!

※保険証の提示がない場合には、保険での取扱いができません。

## 外来患者さんへ

●本院のお薬は原則として「院外処方」としています。「院外処方せん発行」にご協力ください。  
●外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が限られていますので、できるだけ公共の交通機関をご利用いただきますようご協力願います。

## ■北棟

階	診療科名	初診日	再診日
2階/西	神経内科 TEL 092-642-5349	火・木・金	月・水
	脳神経外科 TEL 092-642-5533	月・水・金	月・水・金
2階/西第2	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 TEL 092-642-5615	火・木	月・水・金
	精神科神経科 TEL 092-642-5640 子どものこころの診療部 TEL 092-642-5642	火・木	月・金
2階/東	眼科 TEL 092-642-5660	月・水・金	月・金
	整形外科 TEL 092-642-5504 ※要紹介状	月・水・金	月・金
1階/西	放射線科 TEL 092-642-5705	月・水・金 ※放射線/ヨード治療は要予約	月・金
	総合診療科 TEL 092-642-5300	月・金	月・金

棟	階	診療施設等	電話番号
外来診療棟	4階	ストーマ看護外来(月・金)	092-641-1151
		助産師外来(月・金)	092-642-5900
	3階	糖尿病フットケア外来(水・金)	092-642-5302
		リンパ浮腫外来(木)	092-642-5409(産) 092-642-5615(泌)
	2階	外来化学療法室	092-642-5125
		がん相談支援室・緩和ケア	092-642-5200
	1階	総合案内	092-642-6270
		外来受付	092-642-5138
		入院受付	092-642-5150
		公費相談窓口	092-642-5736
支払窓口		092-642-5169	
患者さん相談窓口		092-642-5132	
医療連携センター		092-642-5165	
社会福祉相談窓口		092-642-5167	
2階	在宅療養支援室	092-642-5185	
	ARO 次世代医療センター	092-642-5858	
南棟	睡眠時無呼吸センター(火・水・木・金)	092-642-5988	
	栄養相談室	092-642-5180	
1階	時間外受付	092-642-5163	
	リハビリテーション受付	092-642-5862	

平成25年7月現在

## ■人間ドック(先進予防医療センター)

TEL 092-642-5746(月・金、8:30-17:00、要予約)

## ■病院の理念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

## ■基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】

- ①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ②プライマリ・ケア診療の充実
- ③全人的医療が可能な医療人の養成
- ④専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ⑤国際化の推進

予約センター(初診患者さん専用)  
受付時間 9:00-16:00(平日のみ)  
受付FAX番号 092-642-5509  
お問い合わせ番号 092-642-5508

# 九大病院だより

九州大学病院 広報委員会発行

## ■乳がんの薬物療法

### ■最新の乳がんの治療

乳がんの治療は、乳がんの進行度や性質、患者さんの状態や希望などを考慮し、手術、薬物療法、放射線療法を組み合わせで行います。乳がんの治療成績は年々向上していますが、薬物療法の進歩も大きく寄与しています。

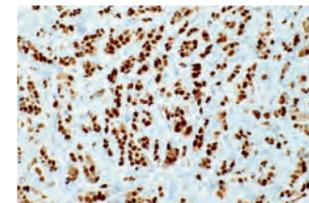
乳がんの治療に用いられる薬剤には、抗がん剤・ホルモン剤・分子標的治療薬があります。術後の再発予防に用いられ、手術前に用いることによって、手術ができない状態だった症例が手術が可能になる場合もあります。また、乳房全摘予定の乳がんが、乳房温存可能になることもあります。転移・再発の場合でも薬物療法の効果により何年も元気に過ごされている患者さんも多くいます。実際には手術や生検で得られた組織により、エストロゲン受容体(ER)、プロゲステロン受容体(PgR)といったホルモン受容体や、HER2というがんの増殖に必要な受容体の状況を調べ、効果の期待できる薬剤を選択します(図参照)。

### ■薬物療法に用いる薬剤

- ①ホルモン剤：乳がんには、エストロゲンという女性ホルモンを「エサ」として増殖するもの(ホルモン受容体陽性)とそうでないもの(ホルモン受容体陰性)があります。ホルモン剤はホルモン受容体陽性乳がんが対象となります。
- ②分子標的薬：トラスツズマブやラパチニブという薬はHER2陽性乳がんに使います。また、ペバシズマブという薬はHER2陰性乳がんにも用いられています。

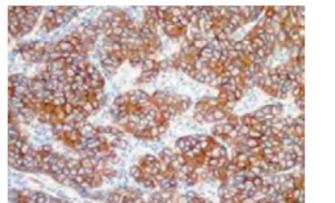
③さまざまな抗がん剤がありますが、その効き目は乳がんの性質により大きく異なります。

乳がんでは新しい薬も続々と登場しており、さらなる治療成績向上が期待されます。九州大学病院では、乳がんの治療に精通した専門医やがん看護専門看護師、薬剤師などを中心に、さまざまな職種からなる医療チームがそれぞれの患者さんに最適な治療を提供することを目指しています。詳しくは受診中の主治医にお問い合わせください。



エストロゲン受容体(ER)

ホルモン受容体であるERは乳がん細胞の核に茶色く染まっています(ER陽性)。このような乳がんではホルモン療法の効果が期待できます。



HER2

がんの増殖にかかわるHER2タンパクは、がん細胞の表面にあります。この図のように茶色く染まっている場合(HER2陽性の乳がん)、トラスツズマブなどの分子標的治療薬を用います。

## お問い合わせ

- 乳腺外科(2) TEL 092-642-5479  
診察日：月・水・金(再診は要予約)
- 乳腺外科(1) TEL 092-642-5453  
診察日：火・木(再診は要予約)

## エッセイ



往診前の口腔ケア支援チーム  
歯科医師と衛生士が2人1組  
左から2人目が筆者

## 入院患者さんの口腔ケア

特殊歯科総合治療部(全身管理歯科)  
副部長 口腔ケア支援チーム

ふたつき としこ  
二木 寿子

Toshiko Futatsuki

九州大学病院では、歯科医師や歯科衛生士、技工士が患者さんのお口の健康を守るために働いています。入院中の患者さんへの口腔ケアもその一つです。病気、手術、放射線治療など、さまざまな理由で患者さんのお口が不衛生で乾燥した

状態に陥ったり、時には潰瘍や出血性の口内炎を起すことがあります。そのまま放置するとお口の中の細菌により、呼吸器を含む全身状態にまで悪影響を及ぼしてしまいます。また、食事を摂る、会話をする、唾液を分泌するなどのお口の働きを保つことができなくなります。そうなると、ももとの病気の治療や回復にも支障が出てきます。

そのような状態に対し、専門職による口腔ケアが、肺炎などの呼吸器感染症や、肺炎による死亡率を減少させるという調査結果があります。また、治療開始前の口腔ケアが、抗がん剤による口内炎の重症化を予防する効果も報告されています。本院では病棟看護師の日常的な口腔ケアに加え、口腔ケア支援チームが病室への往診による専門的な口腔ケアを行っています。また、毎年採用される新人看護師に対し、実践的な口腔ケアの研修を行うことで、より多くの患者さんへのサポートを目指しています。

## ▶▶▶ 診療科のご案内 ①

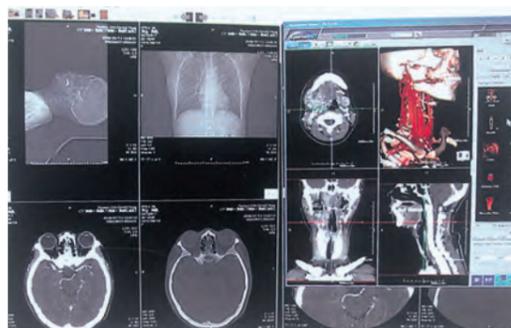
## 口腔画像診断科

当科では、口腔(こうくう：口の中)・顎骨(あごこつ：あごの骨)・顔面・頸部領域の病変や、咬合(こうごう：咬み合わせ)・咀嚼(そしゃく)・嚥下(えんげ：食べ物を飲み込むこと)にかかわる疾患に対する各種画像検査と診断を行っています。

CT検査では精密な撮影と任意の方向から作り直した画像や立体画像作成により、疾患の鑑別や原因の特定を行います。悪性腫瘍ではCTで検出されるリンパ節に対し、さらに超音波による精密検査を行います。口腔がんに対しては放射線治療グループと共同で、放射線障害軽減のためにスパーサー(口腔内装置)を利用した放射線治療と患者さんの口腔内管理を行っています。画像検査手技を応用した患者さんの身体に負担の少ない治療も行っていきます。

また、他医療機関からの一般X線撮影や画像検査依頼も積極的に受け入れていて、歯科用インプラント、埋伏歯、顎関節症など依頼医のニーズに合わせたきめ細かな検査と正確な診断を行っています。

<http://rad.dent.kyushu-u.ac.jp/> で、検査の説明や申し込み用紙がご覧いただけます。



任意断面再構成画像(左)と3次元画像による精密診断

## ▶▶▶ 診療科のご案内 ②

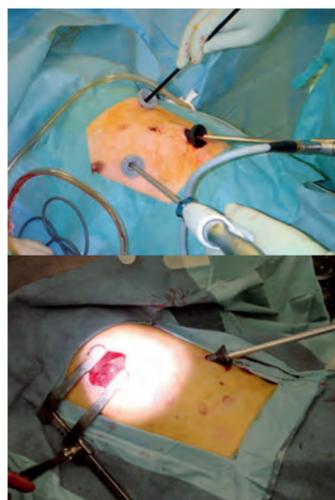
## 呼吸器外科(2)

当科では、呼吸器外科専門医、がん治療医を中心として肺と縦隔(両肺の間)のがんや良性腫瘍、気胸(肺に小さな穴が開いて肺がしぼむ病気)などの診療を行っています。なるべく多くの呼吸器疾患に対応できるよう、つねに呼吸器科、放射線科(診断部・治療部)と密に連携を取りながら治療を行います。

CT検診などで見つかった早期の肺がんに対しては、「胸腔鏡」というビデオスコープを用いることにより、なるべく傷を小さくして肺を小さめに切除する縮小手術を取り入れています。

また、進行して周囲に浸潤してしまった肺がんでも、手術前に化学療法や放射線療法を行うことでがんを小さくし、切除を行う集学的治療を行っています。胸の病気に関しては、何でもお気軽にご相談ください。

呼吸器外科(2) : <http://www.kyudai2geka.com/>



胸腔鏡単独の手術(上)と開胸創に胸腔鏡を補助的に用いる手術

小児X線撮影室  
リニューアルのお知らせ

放射線検査室は大きな機械に囲まれ、お子さんにとっては部屋に入ることさえ恐ろしく感じるものです。

今回、小児X線撮影装置の更新に併せて「また来なくなる」をテーマに、明るく楽しい、安心して検査ができる部屋作りを目指しました。しかし、明るく楽しいだけでは検査はスムーズに行えませんので、できるだけお子さんの興味を引きながら検査を素早く行えるよう、撮影室内のデザインや装置のレイアウトを工夫しました。

また、より高精細で、撮影後すぐに画像を確認することができる、フラットパネルディテクターも導入し、効率的に検査を進めることができるようになりました。

これからもお子さんが笑顔で検査を受けることのできるように、努めて参りたいと思います。

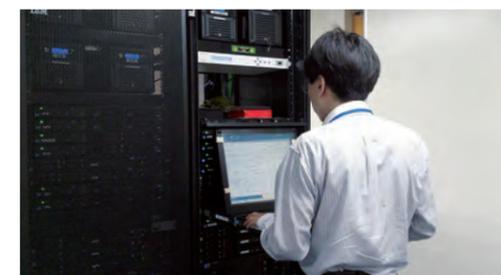
九州大学病院別府病院  
のご紹介メディカル・  
インフォメーション  
センター分室

メディカル・インフォメーションセンター分室(以下、MIC分室)では現在、室長、技術職員、技術補佐員の3人で業務を担当し、診断と治療の精密化を図る目的で導入した医療情報システムと、医療情報ネットワークシステムの維持管理を行っています。この医療情報システムにより、各部門の連携がスムーズに行えるよう支援することがMIC分室のおもな業務です。

室内では、MIC分室サーバ(22台)パソコン端末(194台)と、医療情報ネットワークシステムで構成され、平成25年1月より電子カルテが導入されたことにより、診療情報の一元化や、迅速な情報共有が可能になりました。

また、MIC分室運営委員会ではシステムのトラブル防止や問題点を討議し、各部門と連携を行い、医療情報システムの利便性の向上と医療情報システムの安全な運用に最善を心がけています。

さらに、新規採用者には医療情報とセキュリティ講習、医療情報システムの操作講習を行った後にパスワードを発行して、医療情報システムの利用を図っています。



## ■連載 コメディカルを紹介します[10]

このコーナーでは本院の医療スタッフの役割を順次、紹介します

## 臨床研究コーディネータ(CRC)(看護師・薬剤師)

臨床研究コーディネータ(CRC)は現在、看護師16人・薬剤師5人の計21人で構成され、病院内で行う治験や臨床研究の協力者として、患者さんや家族をサポートするとともに、治験や臨床研究がスムーズに実施されるように、さまざまな調整や支援を専門的に行っていきます。

また、「倫理的で安全・安心な治験や臨床研究を適切に推進すること」を目標として業務しています。

CRCは、病院内で業務を開始した平成11年よりオリジナルユニホームを着用していますが、平成23年にこのユニホームへ変更しました。

治験などに関する質問などがございましたら、外来診療棟1階「ARO次世代医療センター 患者さま窓口」までお問い合わせください。TEL:092-642-5858 受付時間 平日 9:00-16:30



## ■「愛の図書室」開室日変更のお知らせ

ボランティアによって運営され、たくさんの方々からの寄贈本で成り立つ「愛の図書室」は、南棟4階のエレベーター前で開室しています。開室日は、平成25年4月より、これまでの週2日から、毎週月・水・金曜日の週3日となりました。毎回多くの患者さんや、その家族にご好評いただいています。その名のとおり皆さんの温かい気持ちに支えられているこの場所が、これからもたくさんの笑顔を生み出す場であり続けますよう、一同努力してまいります。

本やマンガはもちろん、朗読CDや朗読テープも無料で貸し出していますので、ぜひご利用ください(開室時間 毎週月・水・金曜日 11:00-14:30)。

※九州大学病院では、ボランティア活動をしてくださる方を随時募集しています。ご興味のある方は下記担当までご連絡ください。

■ボランティアに関するお問い合わせ

患者サービス課 医事係 TEL:092-642-5981

